

本日の委員会のまとめ

－ まとめ －

- H20年度の運用では結果的にアオコ増殖を抑制できなかった。H21年度以降では結果として一定の効果が認められた。
- 今後の運用は当面1台とし、連続運転で水温勾配（表層水温）等を低下させる。総合的に効果を検証し、気象条件、流入負荷、水文条件を引き続き監視していく。

－ 意見 －

- プロペラ式水質改善装置の妥当性について、他の事例と比較し、検証する。
- 委員会資料p.30の「流入量のみがアオコ発生の要因ではないと考えられる。」は、「データを追加・整理し、検証していく」に修正する。
- グラフのDO値については、15mg/L以上は想定されないので、資料に掲載する場合は注釈を入れるなど工夫する。